

第 1 章 総 説

1 沿 革

(原 始)

13万年を遡る時代から1万2千年前に土器を発明するまでの間を旧石器時代と呼ぶが、宮城県域で活動の痕跡が確認されるのは後期旧石器時代（30,000～12,000年前）からである。

縄文時代（12,000～2,300年前）に入ると、気候の温暖化に伴って、宮城県域はクリ・クルミ・ドングリなどが繁茂する豊かな森と仙台湾に代表される良好な漁場に恵まれ、縄文文化の中心地のひとつを形成するようになる。

弥生時代（2,300～1,700年前）には稲作文化が伝播し、県内各地で米作りが開始される。稲作は古墳時代（1,700～1,300年前）にかけてしだいに定着し、それに伴って大崎以南には平野部の生産基盤を背景とした豪族が出現する。

(古 代 ・ 中 世)

大和政権ができると、東北の豪族たちもその支配下に入り、中央集権的な律令国家に組み込まれる。奈良時代に造られた多賀城は、中央政府が東北地方を治めるために設置した中心的な役所である。また、黒川以北に居住して中央政府に必死の抵抗をみせた、蝦夷と呼ばれる人々を支配する役割を持つ鎮守府も置かれていた。

平安時代に入ると、政府側と蝦夷側の長期にわたる戦争も収拾に向かい、情勢が安定して農業生産力も飛躍的に増大する。平安後期になると、宮城県域は平泉を中心に一大勢力を築き上げた奥州藤原氏の影響を受けるようになるが、藤原氏が源頼朝に滅ぼされると、各地に鎌倉御家人が配置され、鎌倉幕府の支配下に置かれる。中世には商品流通が活発化し、岩切（仙台市）などでは市が賑わいをみせていた。戦国期に入ると、大崎氏、葛西氏、伊達氏が三大勢力として県内を支配した。

(近 世)

豊臣秀吉による奥州仕置き、葛西大崎の一揆、そして天下分け目の関ヶ原の戦いを経て、現在の宮城県と岩手県南5群に相当する地域は、伊達政宗の領有するところとなった。政宗は、1603年（慶長8年）仙台城を築き岩出山から移住するとともに、城下の町割りを行って仙台の発展の基礎を作った。

仙台藩は、藩祖政宗以来、川村孫兵衛の北上川改修をはじめ河川の大改修を実施し新田開発を促進した。その結果、開発高は17世紀後半（元禄期）には約40万石に達し、実高100万石の大藩となった。増産された仙台米は、北上川・阿武隈川の舟運をもって石巻や荒浜に川下げされ、千石船に積み替えられて東廻航路を利用し江戸に運ばれた。この仙台米は、本石米といわれ江戸の消費の大半を支えた。

一方、18世紀前半（享保期）以降、貨幣経済の進展と天明期・天保期の度重なる飢饉の影響によって農村は疲弊し、藩の財政も窮乏の一途をたどった。藩では経費の削減や儉約に努めたが、財政再建ができないまま幕末を迎える。また、政宗は支倉常長のローマへの派遣や桃山文化を取り入れて、絢爛豪華な建築物を造営するなど歴代藩主ともども文化の発展に尽くした功績は大きい。

(近 代)

戊辰戦争に敗れた仙台藩は、禄高が62万石から28万石に削られて、仙南仙北の地域は他藩の管轄となったため、藩士のなかには新天地を求めて、北海道に移住して開拓に当たるものが多く出た。現在の宮城県の区域では、明治2年の版籍奉還や明治4年の廃藩置県の時期に仙台県や白石県・石巻県・涌谷県・栗原県などがめまぐるしく設置、改廃されたが、ようやく明治9年に現在の宮城県域が確定している。政府による東北開発は、本県内でも明治初期から進められ、野蒜築港、関山峠の隧道開さく、東北線上野～仙台～釜釜～一関間の鉄道工事が行われて、産業、交通の発展に大きく寄与した。本県には、仙台鎮台（のち第二師団）などが設置されたり、旧制二高や東北帝国大学が開校されるな

ど文化その他の面で、東北の中心として道を歩んできた。また、民間においても、明治から大正にかけて県内各地に銀行や電力会社、製糸会社、鉄道会社が相次いで設立され、地域振興に貢献した。

その一方で、昭和の初めまで、明治29年と昭和8年の2回の三陸大津波や明治38年を最大とする何度もの冷害、大凶作、さらに昭和恐慌などの経済恐慌が襲来して、県民は貧窮に苦しんだ。

昭和12年頃からは、県民生活にも戦時色が濃くなり、昭和20年7月には仙台が大空襲を受け、まもなく終戦を迎えた。

(現 代)

太平洋戦争後まもなく、キャサリン、アイオン等の台風で甚大な被害を受けるなかで県土の復興が急がれる一方、東北の拠点としての本県の開発も進められ、昭和39年3月には仙台港臨海地域が新産業都市に指定された。さらに、昭和46年には仙台港が開港、昭和53年には東北自動車道が県内部分で全線開通、昭和57年には東北新幹線が開業するなど高速交通体系が飛躍的に整備され、平成元年4月には政令指定都市仙台が誕生した。

平成4年大韓民国のソウル市に本県初の海外事務所を設置。国際化が進む仙台空港は、平成10年3月に3,000m滑走路が完成し、平成19年3月仙台空港アクセス鉄道が開通した。

平成23年3月、東北地方太平洋沖を震源とするM9.0、栗原市においては最大震度7を観測する大地震が発生し、また、巨大津波が発生した。これにより、東北地方から関東地方にかけて太平洋沿岸を中心に甚大な被害を被った。また、福島第一原子力発電所では国際原子力事象評価でレベル7と評価される重大な事故が発生し、放射性物質の放出汚染は深刻な問題となっている。

この東日本大震災により、沿岸部を中心に甚大な被害を被った本県では、平成32年度を復興の目標に定める「宮城県震災復興計画」に基づき、ふるさと宮城の再生、着実な復旧・復興に向けた各種施策に取り組んでいる。

2 位 置

本県は東北地方南東部に位置し、東京から本県の中心地までの距離は約350kmである。東は太平洋に面し、西は秋田・山形の両県に、南は福島、北は岩手県にそれぞれ隣接し、その面積は7,285.76 km²で、我が国総面積377,950.10 km²の約1.9%に当たっている。

（県面積は平成22年10月1日現在総務省統計局推定、全国面積は平成22年10月1日現在国土交通省国土地理院による。）

方位	地 名	経 度	緯 度	県 庁 所 在 地	
				地 番	経 緯 度
東 端	気仙沼市御崎	東経 141°40'31"	北緯 38°51'49"	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	東経 140°52'19"
西 端	刈田郡七ヶ宿町湯原 山形県東置賜郡高畠町	" 140°16'30"	" 37°58'57"		北緯 38°16'08"
南 端	伊具郡丸森町筆甫 福島県相馬市	" 140°47'34"	" 37°46'24"		
北 端	気仙沼市新月 岩手県陸前高田市	" 141°30'31"	" 39°00'10"		

資料：国土交通省国土地理院 ホームページ（日本の東西南北端点の経度緯度）

3 地 勢

本県の西部一帯は、1,000m以上の標高を有する奥羽山脈が連なり、刈田岳（1,758m）、船形山（1,500m）、大柴山（1,083m）、栗駒山（1,627m）等の諸峰がそびえている。奥羽山脈の東には、阿武隈・北上の両山脈が南北に走り、中央から東南部海岸地帯にかけては、全国有数の穀倉地帯である仙台平野がひろげられている。

4 山 岳 （標高1,000m以上）

山 岳 名	標 高	所 在 地	山 岳 名	標 高	所 在 地
m			m		
峠 田 岳	1 082	刈田郡七ヶ宿町	北 泉 ケ 岳	1 253	仙台市, 黒川郡大和町
フ ス ベ 山	1 222	〃 〃	三 峰 山	1 418	〃 , 〃 〃
番 城 山	1 323	〃 〃	楠 峰	1 211	〃 (山形県境)
二 ツ 森 山	1 269	〃 〃	船 形 山	1 500	加美郡加美町, 色麻町, 仙台市 (山形県境)
舟 引 山	1 173	〃 〃 (山形県境)	花 染 山	1 018	加美郡加美町, 黒川郡大和町
不 忘 山	1 705	〃 〃 , 白石市	前 船 形 山	1 312	加美郡加美町, 色麻町
※ 屏 風 岳	—	〃 〃 , 蔵王町	荒 神 山	1 270	〃 〃 (山形県境)
杉 ケ 峰	1 745	〃 〃 , 〃	大 柴 山	1 083	大崎市
※ 馬 ノ 神 岳	—	白石市, 刈田郡蔵王町	小 柴 山	1 056	〃 (山形県境)
※ 後 鳥 帽子 岳	—	刈田郡蔵王町	小 鐘 山	1 261	〃 (〃)
※ 五 色 岳	—	柴田郡川崎町	大 鐘 山	1 119	〃 (〃)
刈 田 岳	1 758	刈田郡七ヶ宿町, 蔵王町	片 倉 森	1 040	〃
名 号 峰	1 491	柴田郡川崎町 (山形県境)	※ 須 金 岳	—	〃 (秋田県境)
雁 戸 山	1 485	〃 〃 (〃)	竹 の 子 森	1 125	〃 (〃)
神 室 岳	—	〃 〃 , 仙台市	山 猫 森	1 034	〃 (〃)
※ 大 東 岳	1 366	仙台市	※ 大 地 森	—	栗原市
南 面 白 山	1 225	〃 (山形県境)	※ 虚 空 蔵 山	—	〃
面 白 山	1 264	〃 (〃)	栗 駒 山	1 627	〃 (岩手県境)
寒 風 山	1 117	〃 (〃)			
※ 白 髪 山	—	〃 (〃)			
後 白 髪 山	1 423	〃			
※ 泉 ケ 岳	—	〃			

資料：※印「日本の山岳標高一覧」抜粋—国土地理院— 他2万5千分の1地形図標高及び等高線より測定（但し、1991年8月以降、計測していないので標高は未定）
標高は2011年10月31日成果改定による

5 主 要 島 嶼

名 称	所 在 地	面 積
		km ²
大 島	気仙沼市	9.05
出 島	牡鹿郡女川町	2.68
江 島	〃 〃	0.36
金 華 山	石巻市	10.28
網 地 島	〃	6.43
田 代 島	〃	3.14
寒 風 沢 島	塩竈市	1.45
朴 島	〃	0.15
野 々 島	〃	0.56
桂 島	〃	0.76

資料：「2010 離島統計年報」（財団法人日本離島センター）

注. ただし、金華山は国土地理院調べ。

その中央部には牡鹿半島が突出して、海岸を南北に分割し、北部は岩手県南部に連なる三陸南沿岸であり南部は仙台塩釜港を形成する仙台湾沿岸である。

河 川 名	河 川 名
一級河川	
北 上 川 水 系	北 上 川
	旧 北 上 川
	江 合 川
	迫 川
鳴 瀬 川 水 系	鳴 瀬 川
	吉 田 川
名 取 川 水 系	名 取 川
	広 瀬 川
阿 武 隈 川 水 系	阿 武 隈 川
	白 石 川
二級河川	
七 北 田 川 水 系	七 北 田 川
砂 押 川 水 系	砂 押 川
高 城 川 水 系	高 城 川
津 谷 川 水 系	津 谷 川
大 川 水 系	大 川

6 主 要 河 川 （平成22年4月1日）

宮城県河川の河川は、一級水系として、岩手県及び奥羽山脈と北上山地との間の県北地方を流域にもつ北上川水系、福島県及び県内地方を流域にもつ阿武隈川水系、そのに奥羽山脈に源を發する鳴瀬川水系と、同じく都市部を貫流する名取川水系の四大水系が、穀倉地帯である仙台平野を形成し太平洋に注いでいる。

二級水系は、七北田川、砂押川、高城川、津谷川及び七北田川、大川等を合わせて30水系を数える。

宮城県の海岸線総延長距離は、約825.1km（主要な島の海岸線を含む）8市7町にわたり、

7 主 要 湖 沼 (平成24年4月1日)

名 称		所 在 地		周 围 延 長	湛 水 面 積	最 大 水 深	水 面 標 高
				km	km ²	m	m
伊 豆	沼	登米市	栗原市	11.9	2.9	1.3	7.0
内	沼	登米市	栗原市	4.9	1.0	1.6	12.0
長	沼	登米市		11.6	3.2	3.0	8.0
蕪 栗	沼	大崎市		4.4	0.8	-	5.0
花 山	湖	栗原市		-	2.4	20.3	129.1
荒 雄	湖	大崎市		-	2.1	24.0	255.0
大 倉	湖	仙台市		-	1.6	30.0	270.6
栗 駒	湖	栗原市		-	0.8	30.2	205.2
釜 房	湖	柴田郡川崎町		-	3.9	17.6	150.6
樽 水	湖	名取市		-	0.4	18.4	61.5
鳴 源	湖	加美郡加美町		-	0.8	33.4	276.5
七 北 田	湖	仙台市		-	0.5	31.0	249.0
七 ツ 森	湖	黒田郡大和町		-	0.9	18.2	100.0
七 ケ 宿	湖	刈田郡七ヶ宿町		-	4.1	41.5	303.0

注. 1) 水面標高はTP表示, ダム湖はサーチャージ水位。

2) ダム湖の最大水深は, (水面標高-最低水位)とした。

資料: 県河川課, 県自然保護課 (自然環境保全基礎調査, 第4回自然環境保全基礎調査湖沼調査報告書東北版(II))

8 海 岸 線 延 長 (平成23年3月31日現在)

市, 郡 別	延 長	所 属	市	郡	市	町	村
km							
総 数	825.1	本吉郡, 気仙沼市, 牡鹿郡, 石巻市, 東松島市, 宮城郡, 塩竈市, 仙台市, 多賀城市, 名取市, 岩沼市, 亶理郡					
本 吉 郡	75.1	南三陸町					
気 仙 沼 市	127.2	気仙沼市					
牡 鹿 郡	78.3	女川町					
石 巻 市	302.6	石巻市					
宮 城 郡	53.6	松島町, 利府町, 七ヶ浜町					
塩 竈 市	54.5	塩竈市					
仙 台 市	21.7	仙台市					
多 賀 城 市	0.4	多賀城市					
名 取 市	6.0	名取市					
岩 沼 市	9.9	岩沼市					
亶 理 郡	28.9	亶理町, 山元町					
東 松 島 市	66.9	東松島市					

資料: 県河川課 (平成23年版海岸統計より)

上 流 端	下 流 端	流 域 市 郡	流 域 面 積	法 河 川 延 長
			km ²	km
左岸 登米市東和町嵯峨立	海	登米市, 石巻市	371.0	54.0
右岸 // 中田町大泉 (岩手県境)	海	登米市, 遠田郡, 石巻市	1,915.0	35.0
北上川からの分派点	海	登米市, 遠田郡, 石巻市	1,915.0	35.0
左岸 大崎市鳴子温泉鬼首字岩入	旧北上川へ	大崎市, 石巻市	591.0	80.0
右岸 // // // 下岩入	旧北上川へ	栗原市, 登米市	913.0	87.4
栗原市花山本沢岳山国有林	旧北上川へ	栗原市, 登米市	913.0	87.4
北辻倉沢の合流点	海	加美郡, 大崎市, 遠田郡, 東松島市, 宮城郡	1,130.0	77.6
赤崩沢の合流点	鳴瀬川へ	黒川郡, 宮城郡, 東松島市, 大崎市	354.0	44.2
高倉川の合流点	海	仙台市, 名取市	939.0	42.5
坂下沢の合流点	名取川へ	仙台市	311.0	40.0
左岸 伊具郡丸森町	海	伊具郡, 柴田郡, 亶理郡, 角田市	1,320.0	53.6
右岸 // // //	海	伊具郡, 柴田郡, 亶理郡, 角田市	1,320.0	53.6
左岸 刈田郡七ヶ宿町字大谷地道下	阿武隈川へ	刈田郡, 柴田郡, 白石市	797.0	69.7
右岸 // // //	阿武隈川へ	刈田郡, 柴田郡, 白石市	797.0	69.7
左岸 仙台市泉区福岡字獄山	海	仙台市, 多賀城市	229.1	40.9
右岸 // 青葉区大倉字御林	海	仙台市, 多賀城市	229.1	40.9
宮城郡利府町沢乙字唄沢	海	仙台市, 多賀城市, 塩竈市, 宮城郡	54.8	14.5
宮城郡松島町幡谷・吉田川伏越吐口	海	大崎市, 宮城郡	139.6	7.7
気仙沼市本吉町 (岩手県境)	海	気仙沼市	97.7	10.0
気仙沼市新月 (//)	海	気仙沼市	170.3	11.9